

小学校保護者（大口地区）

①・お子さんの通学する小学校区（通学予定を含む）はどこですか？

地区名	対象児童数	回答児童数	回答率	回答分布
大口地区	741	401	54.1%	73.8%

②・すべてのお子さんの年齢（学年）を教えてください。

地区名	就学前	小学生	中学生	中学卒業	合計
大口地区	241	401	77	40	759

③・お子さんの通学する学校（通学予定を含む）は、今後、学校の在り方について検討が必要だと思いますか？

※各世帯1回答としていることから回答児童数と回答数は一致しない

全体	回答数	割合
すぐに必要	42	14.0%
将来的には必要	178	59.1%
必要はない	42	14.0%
分からない	39	13.0%
計	301	100.0%

回答率1位 →①

回答率2位 →②

回答率3位 →③

④・前問の回答理由を下の表の中から、近いと思われるものを選んでください。（複数回答可）

		すぐに必要		将来的には必要		必要はない		分からない		計	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨する機会が多い。	16	8.0%	71	8.4%	21	12.1%	16	8.5%	124	8.8%
2	切磋琢磨すること等を通して、社会性や協調性等を育みやすい。	12	6.0%	68	8.0%	19	11.0%	11	5.8%	110	7.8%
3	集団教育活動（運動会、発表会等）に活気が生まれやすい。	16	8.0%	73	8.6%	19	11.0%	17	9.0%	125	8.9%
4	グループや習熟度別学習、専科授業など多様な形態を取りやすい。	15	7.5%	45	5.3%	13	7.5%	9	4.8%	82	5.8%
5	児童が多いことで、子ども一人一人の把握が難しくなりやすい。	11	5.5%	69	8.1%	8	4.6%	22	11.6%	110	7.8%
6	学校行事等において、一人一人に個別の活動機会を設定しにくい。	5	2.5%	28	3.3%	4	2.3%	8	4.2%	45	3.2%
7	学習等で一人一人にきめ細かな指導が難しくなりやすい。	7	3.5%	68	8.0%	10	5.8%	19	10.1%	104	7.4%
8	保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。	4	2.0%	21	2.5%	6	3.5%	6	3.2%	37	2.6%
9	子ども一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。	11	5.5%	61	7.2%	13	7.5%	13	6.9%	98	7.0%
10	学校行事等において、一人一人に個別の活動機会を設定しやすい。	7	3.5%	38	4.5%	11	6.4%	11	5.8%	67	4.8%
11	児童相互の人間関係が深まりやすい。	7	3.5%	43	5.1%	11	6.4%	8	4.2%	69	4.9%
12	異学年間の縦の交流が生まれやすい。	9	4.5%	54	6.4%	14	8.1%	12	6.3%	89	6.3%
13	多様な考えに触れる機会や切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。	17	8.5%	29	3.4%	2	1.2%	3	1.6%	51	3.6%
14	クラス替えがなく、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。	19	9.5%	61	7.2%	6	3.5%	8	4.2%	94	6.7%
15	集団教育活動（運動会、発表会等）に制約が生じやすい。	16	8.0%	30	3.5%	3	1.7%	6	3.2%	55	3.9%
16	P T A活動等において、保護者の負担が大きくなりやすい。	23	11.4%	86	10.2%	12	6.9%	18	9.5%	139	9.9%
17	その他	6	3.0%	2	0.2%	1	0.6%	2	1.1%	11	0.8%
計		201	100%	847	100%	173	100%	189	100%	1,410	100%

【系統別集計】

理由	すぐに必要	将来的には必要	必要はない	分からない	計	割合
児童数が多いことに肯定的な意見 ①～④	59	257	72	53	441	31.3%
児童数が多いことに否定的な意見 ⑤～⑧	27	186	28	55	296	21.0%
児童数が少ないことに肯定的な意見 ⑨～⑫	34	196	49	44	323	22.9%
児童数が少ないことに否定的な意見 ⑬～⑯	75	206	23	35	339	24.0%
その他	6	2	1	2	11	0.8%
計	201	847	173	189	1,410	100%

⑤・「17その他」の理由

検討の可否	「17その他」の理由
すぐに必要	小規模校は「地域と連携」の名のもとに、地域の下部組織のようであり意思決定がすべて地域のご意向に従い閉塞感がある。
すぐに必要	学校での、グループ活動が十分に出来ない。
すぐに必要	小規模校は地域コミュニティとの関わりが大きい、地域コミュニティの活動を重視するために、小学校の行事とコミュニティの行事を連動させる為、合併しないと訴えるコミュニティがあれば、そこに住む子どもは少数の関わりでしか、無くなってしまう。小学生の為ではなく地域活動の為に合併はしないと宣言された。
すぐに必要	小規模校であるがゆえに確かに良い面もあるが、保護者の負担が非常に大きい。 PTAも強制ではないはずなのに強制加入の風潮ができています。 PTA主催のプール当番もそうだ。 授業参観はこどもの様子も見れるのでいいと思うが学級PTAや全体PTA、開催しないといけなければ、文書でいいと思う。 実際、参加しているが集まって話し合う内容のものは少ない。 そしてPTAの拘束時間が長い。
すぐに必要	特色のある教育環境は、この国において最も効果的な移住促進施策であることは既知のことあり、今の執行部のマニフェストにも合致するところ。しかし現状はそれとはかけ離れている。特色はおろか、クオリティも低い。つまり執行部はこれまで何もしてこなかったという事です。まずやるべき事は市長のマニフェストを定性的なものではなく定量的に表現し直す事です。つまり、「挨拶が良い」とか「母校を誇りにしている生徒がいる」のようなゴミのような事ではなく、『教育日本一とはこの数字を達成すること』と変更することです。そしてそれが唯一無二であれば、教育熱心な家庭が必ず移り住んできます。ちなみにこれは実証済みです。上記により児童数も過疎も同時に解決可能です。
すぐに必要	児童数が減少することが明らかなので、すぐに統廃合すべき。
将来的には必要	小規模化には小規模校のよさが、大規模校には大規模校のよさがあることを見落とさないでほしい。
将来的には必要	部活動、少年団活動が円滑に行える。
必要はない	PTA活動についても必要か必要でないかの取捨選択も必要ではないかと思う。何かをやらなきゃいけないわけでも、やればいいものでもないと思う。
必要はない	特認校だから
分からない	まだ転入したばかりで分かりません。
分からない	児童の多い学校、少ない学校、それぞれに良い点、悪い点があると思うので、どちらが良いとは決められない。 児童が多すぎると先生たちの負担は増えるし、少なすぎると中学生になってから、人数が増えることに対応できない子もいると思う。

⑥・1クラスあたりの児童数は何人ぐらいが良いと思いますか。近いと思われるものを1つ選んでください。

	すぐに必要	将来的には必要	必要はない	分からない	計	割合
10人未満	0	12	4	2	18	6.0%
10人以上20人未満	19	76	17	17	129	42.9%
20人以上30人未満	21	87	20	20	148	49.2%
30人以上	2	3	1	0	6	2.0%
計	42	178	42	39	301	100.0%

⑦・今後の児童数の推移をご覧になって感じたことや、今後、学校の在り方を考えていく上で必要なことやご意見等があれば記入してください。

検討の可否	内容
すぐに必要	市内の学校ごとというより、全体で統廃合を踏まえた議論をすべきと思う。
すぐに必要	いろいろな考え方があり、検討には非常に多くの時間を要すると思うので、実施は将来でも、どうあるべきかは今から検討しておくべき。
すぐに必要	まず、PTAは必要ないかなと思います。お金をかけてまでする必要は本当に分らない。
すぐに必要	子どもたちのことを考えると、ある程度人数が多い環境で学ばせることが必要です。 遅かれ早かれ過疎化は進みます。 地域住民からの存続の願いはあると思いますが、子どもたちのために思い切って旧市町ごとに小学校を統合するぐらいやってほしいです。
すぐに必要	小学校の数を減らし統合した方がいいと思うが、ある程度人数が多い小学校と特任校、小規模小学校もあっていいと思う。環境が合わない場合に転校できる選択肢や子どもさんによって大人数が多い場合と少人数が多い場合があると思う。一桁の児童数の学校は近くの学校と統合していいのではないと思う。
すぐに必要	伊佐市自体に活気がなくなってきたので、児童数が少なくなっていくのは仕方ないと思う。その中で、他県より劣らず「生きる力」を育むことができる授業などを増やしていけたら良いのではないと思う。
すぐに必要	少人数校の児童が中学生になった時、環境の変化が大きく、ストレスを感じやすく不登校のリスクが大人数校の児童に比べて高いと思う。伊佐市内の小学校同士が交流する機会が増えると顔見知りとなり、中学生になった時スムーズに移行できるのではないかと思います。
すぐに必要	少なくなることを利点だと捉えて、今までのように全体性を重視するのではなく、ひとりひとりの個性を大切に、その子にあった教育ができればいいのではないのでしょうか。先生方の負担もよく話題になってますし、見直す時にきているということだと思います。
すぐに必要	子どもが通っている学校は、大口小ですので、検討の必要性は感じていませんが、他の小学校を見た時に、人数の推移が激しく減少する事は、統合などの検討は早急に必要だと感じました。 統合には、コミュニティとの関係性など、難しさはありますが、子どもたちの学習環境を一番考えて、早急に検討して頂きたいです。大口小学校も、老朽化がすすんでおり、安全とは言いえない環境です。統合を機に、大口小学校を建て替えて、伊佐市の拠点となる学校づくりを検討して頂きたいと思います。
すぐに必要	小学校の合併を早めに子どものために率先して進めて欲しい
すぐに必要	一概に生徒数が多ければ良いと言うわけない。 目が届かない、児童間における学習習熟度かなりのバラツキを感じる。 小規模校での地域やコミュニティとの交流やPTAの深まりは大規模な学校からすると羨ましくもある。 集団における社会性や協調性は大事だが、右向け右！の様な古い体制は考えもの。 今は個性も尊重しながらでどちらに重きを置くかバランスを取りずらいことについては教職員の難しさも思慮するところ。 あらゆる面から考えて大人数よりも25人前後が好ましい環境と思う。 そのような調整はかけられる学校があるのが望ましいが、校区的に校区外となると児童が自力で、通学することは難しくなる等別の問題点も出てくるため悩ましい。
すぐに必要	・通級が多く、教室が足りないため3クラスから2クラスになると説明があった。大口小の改築など、計画的に行ってほしい。 ・教員の質が伊佐市に限らず落ちている。倍率1倍強では資質がない人も教員になってしまう。きちんと学校の統廃合を行い、教員も淘汰されるようにしてほしい。 ・通級が多すぎる。塾代わりにして私立中学校の受験をしていたり、通級不要と判断されても親のgori押しで通級に行かせている児童もいる。本当に必要であればいいが、そうでない子はきちんと判断してほしい。通級に教員をとられ、専科の人手不足を招いていて、本来受けられる教育が受けられていない。 ・小規模校を卒業した保護者に話を聞くと、小規模校でほぼマンツーマンに近い状況で、学力も伸びていたが、中学校になるとマンツーマンでなくなるため、一気に学力が落ちた。自ら学ぶ意欲が育っていなかったと後悔していた。本当に小規模校に通わせることが、児童のためになるのか。地域の反対もあると聞くが、誰のために学校を残すのか、本当に児童にとって良いことなのかを考えるべきだと思う。 どうしても少人数でないと難しい子どもには、平出水小のような特認校制度を残しておけば、対応できるのではないかと。 ・挨拶をしると言割に、教育長筆頭に、教員がしていない（人を見て挨拶をする・しないがある）。
すぐに必要	前にも述べたが、小規模校は保護者の負担が大きすぎる。ので、わざわざ住所を変えてまで大口小に通う方もいる。
すぐに必要	子どもの人数が減っていくのは明らかなので、統廃合などを含めて検討が必要だと思う。でも小規模校のよさもあるし、それを今実感できているところもあるので、いきなり大きい学校へ子どもを通わせることにも抵抗がある。 例えば大口小、元大口南中校区の小学校、それ以外の小学校（牛尾、大口東、山野、平出水）などで学校をまとめてもいいのかなと思う。 小さい学校は勉強面ではすごく恵まれた環境にあると思うが、それ以外の運動面、社会性面で心配な面もある。 伊佐市以外の地区でも統廃合はすすんでいるので、伊佐市もこれから子どもたちが少なくなることがわかっているのなら先延ばしにするのではなく早く検討してほしい。
すぐに必要	人数の多い学校と少ない学校の差がありすぎる。
すぐに必要	少人数の小学校からの中学入学へはかなりの不安は親子共々ある。人間関係、学習面など適応していけるのか。
すぐに必要	人口減少は止まらないので企業誘致に力を入れる。コミュニティと他小学校との連携をする。
すぐに必要	小規模校には、学区外通学できないので止むを得ず通っている。統廃合すれば喜ぶ。小規模校にもメリットデメリットがあるが、教師人件費や建物維持管理費など税負担が大きすぎるデメリットが勝る。
すぐに必要	少子化が進むとは分かっていたが、今後6年間で急激に減少すると知り焦りを覚えました。 学校側だけの問題ではなく地域全体の課題だと思います。
すぐに必要	あなた方がこのアンケートで得たい結果は、おそらく学校の集約の後押しになるものであると思います。 しかし、実に簡単な方法で児童数は増えます。 後ろ向きな施策に走ってしまうのはアイデアの不足が原因です。 前向きな取り組みをするために、アイデアや人を集めて、1回くらいチャレンジしてもいいのでは？
すぐに必要	地域を大切に、小学校がなくなると地域も衰退していくというのはわかるのですが、子供が体育をするのも人数が足りなくて同じ年代の子達と運動する楽しさがわからなかったり、中学校に行くと人数が多くなり、今まで手取り足取りの状態から急に手放されて、勉強も戸惑う事があると思う。それを考えるともう少し人数が多い学校がいいと思う。
すぐに必要	特任校になり、自由に学校を選択できるといい。
すぐに必要	5年生1人ですが、1人では、先生方の細かい配慮がいき届いているというメリットもありますが、やはり、休み時間も1人、勉強時のグループ活動が出来ないといった問題点が多く目につくようになりました。これから中学生になって、急に多人数になると、慣れるか心配です。 実際に、家族が不登校になり、本人が学校に行けないことを周りから言われるので、辛い思いをしてきました。私も辛かったです。 先日お話しして頂きましたので、すぐに合併出来ない事は、よく分かっております。これからの子供達・保護者の為には、なるべく早い合併を希望致します。 どうぞよろしくお願い致します。
将来的には必要	少人数指導はひとりひとり寄り添って丁寧な教育ができるが、伊佐市は小規模小学校が多い分、中学校が2校のため、中学校に上がったタイミングで、いきなり大きな集団に入る事に対応できない子どももいると思います。集団の中で適応できずに不登校になっている生徒もいるのではないのでしょうか。 去年の伊佐市の不登校率は小学校も中学校も凄く多いと聞いています。
将来的には必要	今の大口小の5年生のクラス人数が多すぎるので、1クラスの人数の上限を下げて欲しい。 体育などは人数が多すぎてなかなか自分の番が回って来ない(プールや鉄棒)ので上達しないまま終わってしまうこともある。 普通クラスと支援クラスを分けて1クラスの上限を決めて欲しい。
将来的には必要	少子化と言われる中で、40名近くの人数を1クラスに入れてぎゅうぎゅう詰めで学習をして、1人の担任で目が行き届かなくなるくらいなら、クラス数を増やして人数を分散して少しでも一人一人に教育が行き届くような工夫をして欲しい。
将来的には必要	高校の再編をし、私立や公立の近隣高校より魅力のある学科を検討してもらいたい。
将来的には必要	数値だけ見れば学校の統廃合は必要不可欠かと思われます。教職員確保の難しい現実もある中で、そもそも学校経営自体も難しいような気がします。ただ、まとめればまとめた分、新たな問題や既存の問題の拡大につながる可能性は否めませんが、逆に今の現状にどれだけメリットがあるかも不明瞭です。教育の場で定量的な評価は難しいとは思いますが、少なくとも現状ではジリ貧な気がします。
将来的には必要	今4年生の長男が1年生の時は3クラスあり、1クラスの人数がちょうど良く目がいき届きやすいと思っていましたが、2年生から2クラスになり、1クラスの人数が増えた事で、勉強等の面でついていけるのか少し心配はあります。本人の頑張りが次第という所もあります。
将来的には必要	人数が少ない学校を合併すれば、教員不足の問題に作用するのではないかと。思う。
将来的には必要	児童数が増える事はほないと。思います。減っていく事は寂しいですが、どのような状況であっても、子ども達が安心して安全に学び、活動していける環境作りをしていくのが大切だと思います。児童数が減っていくと嘆くより、それなら何が出来るのかを前向きに。大人だけで決めずに子ども達の意見も聴いてほしいです。

検討の可否	内容
将来的には必要	中学校が統合されたが、小学校でも統合する可能性が高いと感じるが、どの程度の水準で検討していくのか知りたい。 また、先生によって、授業の進み具合に差があったりする場合のフォローについては、どのように対応していくのか。
将来的には必要	子どもたちが、大人になって孫の世代には伊佐に小学生は何人になるのか、心配になりました。 教員確保の問題や、先生方の負担減少、学校活動の充実をはかるためにも、小学校の再編成は必要だと思う。 少子化のなか、学校以外の子どもたちの居場所が、豊かになればありがたいです。
将来的には必要	現在で小学校区計で1095人だが、令和13年には745人にも減るんだと驚いた。 児童数が減れば学校の在り方も検討が必要だと感じた。
将来的には必要	スポーツ関係の行事に参加しない子どもが多すぎて驚いています。 授業日数などの関係や先生方の負担などの問題もあると思うのですが、授業時間の範囲内で子どもの可能性を広げるためにもっと体を動かしたり、自然と触れ合う機会、地域の特性や問題などに向き合い、考える機会が増えればいいと思います。
将来的には必要	全体のこどもの人数が減少していく中で、学校数が多いと教員の確保も難しいはずですが。教室に30人超えのこどもが詰まっているのを見ると、息苦しそうにも感じます。全体の学校数を減らして、数校にまとめて、1クラス30人くらいの規模になると、良いと思います。行事も盛り上がりそうだと思います。
将来的には必要	児童数が多い学校は担任の先生の目が届いていない為と感じることが今でもある。少数の学校と比べると学力差が出てくるだろうと感じる。
将来的には必要	伊佐市で、子供の人数が減っていくのは仕方ないと感じますが、地域の事を思うと淋しく感じるようでもあります。学校があるところで、住まいを考えたりするので、今後大口小学校に集まってくるのではないかと個人的には感じます。ただ、人数の多い学校と少ない学校、どちらもメリットが違うので今後検討していかないといけないのではないかと思います。
将来的には必要	小さい学校は再編が必要だと思う。今後進学や社会に出ていく際に、ある程度大きな集団の中で、色々な人と関わった経験が大事になってくると思うから。
将来的には必要	現状、子どもが少なくなってきていて伊佐市の将来に不安はありますが、小規模学校でも、良さがあります。どうしていくべきかは色々考えていく必要があると思います。 他地域では9年生（小中一貫校）や、中高一貫等あります。それも色々意見もありそうですが小規模地域の意見を尊重しながら検討してほしいです。
将来的には必要	校区関係なく自分達の行きたい学校、行かせたい学校へ行けるよう選択肢を与えてもらいたいと思います。それが無理だったら合併したほうが良いと思います。現状、家庭の事情で引越しを余儀なくされた場合に子供が学校を変わりたいと思っても申請書が必要だったり、申請したからといって必ずしもそうなるとは限らない。子供のことを一番に考えると、その方法は適切ではないと思います。
将来的には必要	少人数での目が行き届く環境は非常によいと感じている一方、児童の減少によるデメリットはかなり負担になる。 近隣の学校と児童数のバランスをとれる制度があり、そういうのがフランクに行われるのがいいよねという空気が作れるようになればいいと思う。
将来的には必要	大きい学校も小さい学校もどちらも良いと思います。
将来的には必要	大口東も近い将来、学校再編が必要になるのだろうと感じた。
将来的には必要	まっこんなんでしょう
将来的には必要	児童数が50人未満の学校については、早期に再編して教員や予算の不足を改善すればいいと思います。
将来的には必要	児童数の減少で学校が少なくなってしまう可能性があることは残念ですが、致し方ないと思います。維持費や経費が余分にかかってしまうことを考えると統合するのも手だと思います。しかし、大口小を見ると、少し人数が多すぎるようにも感じます。先生の目が行き届いた環境で学習するためにも、ある程度の人数での統合を希望します。
将来的には必要	児童数が減少していくのは避けられない現実だと思いますが、小学校はそれぞれの地域で学ぶことが大切だと思います。私自身も少人数の学校で学んで育ちました。今、子供達も少人数の学校で学んでいるのでとてもありがたいです。
将来的には必要	令和13年の児童生徒数をみると、50人を下回る学校が多いため、早い段階から学校の在り方を考える必要があると思う。 校区コミュニティというまとまり（集団）とは切り離して考えていくことも重要だと思う。
将来的には必要	今後も山野小の生は生徒が多くなるとは考えられないため、無駄を省くこと。例えば定型的なあまり意味の無い活動を省いたり。など。 親も子も参加しやすい雰囲気を作ることが大事だと思います。また、絶対数が足りないので、地域の方やOBの方の協力を仰ぐことも必要かと思います。 あと、保護者会の時間が多く、子供の活動が少なく残念です。
将来的には必要	中央の学校に人数が集中するのではなく近隣学校に分散する方法を考える。
将来的には必要	教育日本一を目指すとか市長はいいますが、ほんとにみんな子どもたちは安心安全な状況にあるのか考えてほしいです。 まず、国が定める適正な学校規模自体がふくむ時代に合わせて考えます。なのにその一文を書かれたことで、大口小以外は適正じゃないのかあと思い込んでしまう方がいないか心配です。 大口小の状況をまず見てください。教室の大きさに比べて子どもの人数が多すぎて、ゆとりがありません。保護者は参観にいつてもじっくりゆっくりみれません。 国の基準で、支援学級在籍の子を在籍学級でカウントしないため多すぎる状況になります。伊佐は特別支援に力を入れているなら市の基準でかえて、県に要望したらいいとおもいます。 また大口小は古いですが、たてかえる予定があるのか全く見えず心配してます。 小規模校は切磋琢磨できないと考えてるかたいますが、大口小の規模でもそんなに切磋琢磨してますか。そんなにかかわらないとおもいます。 小規模校は1人1人の出席が多いです。また先生がた、コミュニティ、他の学年と距離が近いので、多様な人と知り合えるチャンスがあります。 財政面を考えて統合していきたいと市は考えているのかもしれませんが、学校がなくなことはコミュニティが、失われることになり大変心配してます。 小さな学校の子どもたちが望ましい学校になってるかだけでなく、大口小の子どもたちがほんとに幸せな環境にいるかも考えてください。いまはなんえいと平出水だけの特認をすべての学校にみとめるとか、大口小から他の学校にいくなら交通費を出すとか、案はないでしょうか。 まだ特別室にクーラーが設置されてない学校がいくつかあります。財政面からできない、統合へということにならないようにしてください。子どもたちの環境を早急に整えてください。修学旅行、交流学習は積極的に実施したいと思います。 同じ学年のこが少なすぎて辛いこがいるならそれもサポートしないといけません。 子どもたちにも考えを聞いたらいいとおもいます。
将来的には必要	子供たちにさまざまな体験をしてもらう行事を行うには学校や保護者や地域の協力が不可欠だが、そもそも協力できる世帯も少ない。 協力できる大人が少なければ1人当たりの負担も大きくなり、最終的には何もできなくなってしまう。 気付かないところで子供の可能性を潰してしまっているかもしれない。 自分達が学校に通っている時に放課後などに遊びでできていたスポーツも学校内ではなく、今は特定のクラブに通わせざるを得ないのも少し寂しい。 各地域に人が少ないのは仕方ないが、各地域同士が協力して活動することで、今まで見てこなかった発見もあるのではないかと思います。 少しでも「自分はこういうことに興味があるんだ」と子供自身で気付けるような経験ができるような環境を整えてあげられるようにしてあげたい。
将来的には必要	児童数が減って学校経営が困難な場合は統合など考える必要があると思うが、小学校は地域の方たちとの関わりもあったり、支えてもらっているのだから地元の小学校に連携させたい。
将来的には必要	複式学級にならなくらいの学校規模で、個人にも目の届く丁寧な指導をしてほしい。また、地域の連携した特色ある教育も残してほしい。
将来的には必要	不登校児が増えているので、しっかりケアできる環境を整えてほしい。
将来的には必要	現在はとてもありがたい環境で子供が学校生活を送れていることに感謝申し上げます。今後は児童数が減ることに対して再編は必要になってくるかと思います。子供にとつてのびのびと学校生活が送れる環境を作ってってもらえたらと考えます。
将来的には必要	人の数が増えればトラブルになりやすいので、小学校時代は、小規模で出来るだけ平和に過ごしてもらいたい。
将来的には必要	特認校のため、現在は児童数も昔に比べ増えた事は有り難い事ではありますが、特認校の良さが正直失われています。
将来的には必要	近隣学校との統合または複式学級、多人数学校から小規模小学校へ分散（特認校の活用）
将来的には必要	学校が統合され、登下校がスクールバスになる場合、登下校での運動量、統合されたことでのプールや体育館、校庭を使う時間、先生が生徒1人にかかる時間、様々な部分で、生徒数が少ない学校の生徒は、充分満たされるとは思えません。 多様な考えや、切磋琢磨は習い事等で経験していることも多く、中学や高校からでも、十分経験できると思う。小学生のうちは、のびのびと広い伊佐市で心を育んでほしい。 将来的に、スクールバスではなく地域のバスを増やし、小学生から高齢の方も同じバスで地域の目を増やして安全に登下校して欲しい。
将来的には必要	児童数が少なくなるため、その分一人一人のレベルにあった学習ができるようになると思う。ただ家庭数が少なくなると親の学校行事に出る時が多くなるからそこは減らしていく方向性が良いと思う。
将来的には必要	あまりにも少子化が進んでいる現状を知り、驚きを隠しません。 今後の学校の在り方としては、少子化により人数は減っていますが、それを逆手に取り手厚い教育ができるというメリットにかえて関わって頂ければと思います。
将来的には必要	あまりにも大口小に偏りすぎてるのでこの学校に行ってもいい様に地域に縛られず選択肢を与えてみては？
将来的には必要	児童数が少なくなる事でPTA行事の親の負担が大きくなりそう。
将来的には必要	統合した方がよいと思う。
必要はない	子どもたちに取って選択肢があることが重要だと思っています。

検討の可否	内容
必要はない	各地域や各学校での特色もあるかと思います。地域の良さや、学校の良さが損なわれないように、学習や生活面でのルールの統一も必要かなと思います。その反面、新しいエネルギーで活気も生まれるかもしれませんが、現在、行き渋りや不登校気味の児童や、支援を必要としている児童が、負担なく新しい環境に馴染んでいけるような配慮も必要になると思います。
必要はない	学校の在り方については特はない
必要はない	少人数の学校、少人数のクラスの良さもちろんあるが、ある程度の人数がいた方が、子どもたちの能力は伸びるのではないかなと思う。今後、小規模校は統合の必要性も感じる。
必要はない	児童数の減少もだが、両親共に働いている家庭も多いので、PTA活動については今後検討すべき。
必要はない	児童数の減少、教員の不足を考えると将来的に学校を統合した方がいいと思う。学校を維持するのも大変だろう。しかし、学校がなくなると地域が衰退するのでそこも無視できない難いところだと思う。未来を担う子どもたちが過ごしやすい環境を1番に考えてほしい。特性のある子どもが多いので細やかな配慮が行き届くといいと思う。
必要はない	児童数が減少するのは深刻な問題です。小学校は子どもたちにとって小さな社会で、学びの場であり、地域の絆を育む大切な場所です。統合をすすめて行かなければならないと思いますが、通学距離や子どもたちの心のケア、地域の繋がりを十分に考慮してほしいです。統合することによってある程度の児童数が集まれば子どもたちも多様な友人関係が築けるし、いろんな学習も出来ると思います。
必要はない	少子化の現在、生徒が減るのは当たり前。だが、各地域地元の小学校は大事に思ってるし、無くしたくない。 再編も必要かもしれないが、伊佐市の人口減少も著しい。 まずは、伊佐市が人口減少を食い止める何かしらの対策をしないと人口、及び生徒は減る一方。 もう少し真剣に市長は考えて欲しい。
必要はない	小規模校はいいのだがあまりにも人数が少なすぎるとだめだと思う
必要はない	中学校のように、小学校の統合は必要ない。
必要はない	特認校以外の学校は、小さい学校同士の合併をしたほうが良い。
必要はない	少人数で、ひとりひとりしっかり見てもらえてとてもありがたいです。 大規模小学校から転校してきましたが、2人ともかなり自己肯定感が上がったように感じます。 今まで算数が苦手よく理解できていないようでしたが、転校してからはしっかり教えてもらえるようになり、算数や他の教科でも全体的に成績が上がりました。 人数が少ない分、先生方や地域の方々との距離も近く、親以外にも見守ってくれている大人がいると子供達も安心しています。 感謝しています。
必要はない	一桁の人数や十数人の学校は合併することで、多様な人間関係も経験できるし、行事も人数がいることでより深いものが経験できると思います。 保護者も多いほうが、役員などを回しやすいと思います。 子供の登下校の距離が遠くなり難いところですが、少子化のこの時代、今後編成は必要になっていくのは仕方ないと思います。
必要はない	PTAや学校行事等に積極的に参加したいが、共働きでなかなか時間が取りづらい。 少人数の学校では地域活動や役員など代わる人がおらず、負担が大きくなるのでは？ 中学校みたいに小学校も統廃合の検討してみても？
分からない	学校の老朽化が進み、大口小ですがトイレは悪臭で子供もトイレをがまんしたりしています。過ごしやすい学校環境も大切だと思います。子供が掃除をすることも学びで大切ですが、時間も足りません。これからの時代シルバー人材センターなど委託での清掃も必要だと思います。環境が整った上で合併など考えるべきです。まずは現在の学校環境を整えるべきではないでしょうか
分からない	少人数で先生が目が届くようにして欲しい
分からない	全体的に減少傾向なので、少人数の学校は合併を検討されて、同じ学年に同級生がいる環境も大切なのではないかと思います。
分からない	児童が減っていくことは残念ですが、先生方の目が子どもたちに行き渡りやすくなり、先生方の仕事の負担が軽くなるのはいいことだと思います。転校してきて土曜授業があることに驚きましたが、子どもたちや先生方の負担軽減のためにも無くていいのではないかと感じました。
分からない	伊佐は地域の方々との関わりも深いので、近くの学校がなくなるとか、子どもたちを見かけることが少なくなると、やはりさみしいものはあると思う。
分からない	児童数が少なくなる事で、同学年に男の子や女の子が一人になったりする。
分からない	人数が少ない分、他校との交流が増えれば友達もできやすいと思う